

## 平成30年度第2回安城市スポーツ推進審議会議事録

日 時	平成31年2月22日（金）午後1時30分～午後2時53分
場 所	安城市体育館3階第4会議室
出席委員	横山修会長、野村富雄副会長、内山博子委員、錦見和彦委員、大村雅人委員、石川恭委員、藤野奈緒子委員、黒田みどり委員、中川清委員
欠席委員	伊佐治琢磨委員
事務局出席者	教育長（杉山）、生涯学習部長（大見）、スポーツ課長（名倉）、スポーツ課長補佐（市川）、施設管理係長（岩井）、スポーツ振興係主査（鳥居）
次 第	1 市民憲章唱和 2 あいさつ 3 議題 （1）第2次スポーツ振興計画に係る平成30年度事業実績（中間報告）について ア 個別事業の実績について イ 目標値の達成状況について （2）主要事業報告について（パワーポイント）

### 1 市民憲章唱和

### 2 あいさつ

横山会長、教育長

### 3 議 題

#### （1）第2次スポーツ振興計画に係る平成30年度事業実績について（中間報告）

##### ア 個別事業の実績について

【事務局説明】資料P1～P4

##### 【質疑応答】

（野村委員）

昨年暑かったということで、給水場所が若干少ないのではないかという声を聞いています。飲料水を販売している場所は体育館を含めて13カ所あると思いますが、野球場のAコートとBコートの辺に設置してはどうかと思います。というのは、近くのコンビニエンスストアがなくなってしまったものですから、飲み物を購入する所がないという声を聞いていますので、できれば野球場Aコートの辺に1つ設置をしていただけるといいのかなという意見を聞いておりますので、よろしくご検討ください。

（石川委員）

大変良くやっただいていてという印象を受けました。

1つお聞きしたいのは、基本方針4 ささえるスポーツの中で、（2）ボランティアの件

ですが、シティマラソンとデンパーク 駅伝がそれぞれ前年度からボランティアが減っているのが気になりますが、どんな理由や要因があったのでしょうか。

(スポーツ振興係主査 鳥居)

昨年度、ボランティア数が過去 1 番多かったということで、当日の駐車場が非常に混雑しまして、参加者が停められなかったという問題がありました。そういった課題がありましたので、ボランティアの業務内容を精査して、定員を設けさせていただきました。

(石川委員)

そうすると、29 年度はそれぞれ 623 人、343 人ですけど、減ってそれぞれ 493 人、230 人ということで、その規模でも十分運営可能ということでしょうか。これだけ集まれば問題ないということでしょうか。

(スポーツ振興係主査 鳥居)

全く問題ありませんでした。

(スポーツ課長補佐 市川)

確かに見通しというところでは、声をかけていただけるボランティアさんは全員受け入れるような形で今まで受けていたのが、昨年は特に多くて、現場はパニックになったということがあったものですから、今年度については、業務内容を精査して、充実したボランティア内容にするということで上限を設けさせていただきました。

そうすると、この人数で達成かなと気もしますが、ボランティアとしてやっていただける部分をもう少し自分たちの中で精査していかないといけないことが課題と考えています。

(石川委員)

やはりボランティアは善意でやっていただいているので、せっかく申し込んでいただいたのに断るのはと思います。役割分担など考えていただいて、少しでもささえるスポーツとして自分に関わりたいと思っていらっしゃると思いますので、時間帯を区切ったり役割分担をしたりして、少しでも多くの方に参加してもらおう方が良いのかなと思います。

(スポーツ課長補佐 市川)

やはり駐車場の関係が懸念されますが、石川委員言われるように、なるべく手を挙げていただいた方全員にやっていただきたいとは思いますが、今年は上限儲けましたけど、それが決して絶対良い方法とは思っておりませんので、今後の課題とさせていただきます。

(藤野委員)

おしえるスポーツの所で、指導者養成講座で 51 人の方が受けられて、私も受けさせて

いただきましたが、今回ラジオ体操実技講習会を新規にやられたということですのでごく良い内容でした。全部の講義を受けるのは無理だとしても、例えば1つだけでも受けるということができるということは可能でしょうか。

(スポーツ課長補佐 市川)

この事業は、体育協会に委託しておりまして、石川委員を中心に講義をお願いしているわけですが、参加者には参加料を払っていただいております、1つだけ受講したいなどというお気持ちはすごくわかりますが、そこを今後どのように整理していくのかは課題となりますが、スポーツを深く知る機会を作るという意味では大変貴重なご意見と思っておりますので、体育協会と今後検討してまいりたいと思います。

#### 【議題(1)ア 全委員了承】

##### イ 目標値の達成状況について

【事務局説明】資料P5、6

##### 【質疑応答】

(大村委員)

第2次スポーツ振興計画の全体目標が、成人の週1回以上のスポーツ実施率が53%以上ということですが、他の市の実施率と比べるとどんなレベルなのでしょう。

(スポーツ課長補佐 市川)

この目標値は、国のスポーツ基本計画に準じた数値でございます、他の市の状況は把握しておりません。

(大村委員)

非常に内容が充実しているし、いろいろなことをやってみえるなど感じましたので、それら実施した数値が個別目標実績値に出ていて、それを踏まえて考えたものがこの目標値なのかと思っておりますがいかがでしょうか。

(スポーツ課長補佐 市川)

個別目標の数値を出すにあたっては、ある程度決まった事業の数値で比較するようにしています。みなさんから他にもやっているよねとか、公園内で歩いている方が、例えばここを1周歩いたらカウントできるようなものを付けたらどうかという意見もいただくこともあります、明確に比較するという所では、事業を絞って目標値を定めています。

全体目標については、アンケートを実施する時期が決まっていますので、そこを見込んで目標値を定めています。

(黒田委員)

スポーツ観戦事業のボッチャ競技のチラシをいただきましたが、私たちみんスポクラブの指導者も高齢化していて、地域を見ても日本全体が高齢化しているということで、これは高齢者にもできるスポーツなのではないかなということで、みんスポクラブから3名申し込みさせていただきましたが、もし今回参加させていただいて、地域でやりたいと言ったときに道具をお貸しいただけるのでしょうか。

(スポーツ課長補佐 市川)

この競技を実施するにあたり、体育協会にて2セット購入するということになりました。すでに、総合福祉センターでも5セットもあります。

(黒田委員)

これは室内でもできる競技でして、カローリングの場合、床に座ってやらないといけないので、ボッチャだと椅子に座ってやることもできるので、やはり高齢化で足腰が不自由だけどスポーツをやりたいという方もきっといると思いますので、地域やっているのはゲートボールやグラウンドゴルフが多いですが、やはり目新しい競技だとみなさん興味を示すと思いますので、ぜひ私たちも取り入れたいと思いました。そこで、道具はどうなるのかなと声が挙がりましたので、そういったことでしたら、安心して地域で活動できると思います。ありがとうございました。

(内山委員)

老人会のグラウンドゴルフの件ですが、昨年12月に四日市市にある8ホールを4面できるような大きなアリーナで開催された大会に行ってきました。昨年、桜井町で大会をしたときに雨が降って、予備日もグラウンド状態が悪くて中止になったのですが、景品を買ったのにどうしようかということになったのですが、もし雨が降ったときに50人くらいの方ができるような室内施設があるといいなと思いますので、一緒に行った方みなさんそう言って見えたので、報告させていただきました。

(横山会長)

今、雨天でできるような会場はあるのでしょうか。23号線の下で小規模ですがやっているのは観たことがあります。

(内山委員)

室内ですと屋外みたいに思いっきり打てませんが、景品を用意しているともったいなあと思ひまして、どこかでやれるといいなあと思ひますので、ぜひ言ひてほしいと言ひられましたので報告させていただきます。

【議題(1)イ 全委員了承】

## (2) 主要事業報告について (パワーポイント)

【事務局説明】 パワーポイントにより報告。ラジオ体操第3を実施。

### 【質疑応答】

(黒田委員)

みんスポクラブでスナッグゴルフという道具を持っています。これは設立したときに、愛知県の女子プロゴルファーから道具の無償提供をしていただいて、ぜひ普及してほしいということでした。これはどちらかといえば、子ども向けのスポーツですが、私たちも教室を開催すると、どうしても参加者が大人の方ばかりなんです。以前、名城公園での勉強会に参加した時に、名古屋だと盛んにやっているみたいです。スナッグゴルフは、本来だとゴルフ場の1ホールを区切って子ども向けにやるものなのですが、公園とかそういう所でも練習ができます。今、子ども会でソフトボールとかフットベースとかやっていますが、今参加者が少ないということもありますが、例えば児童クラブの場合、外で遊ぶことはあるのでしょうか。

(スポーツ課長補佐 市川補佐)

決められた時間だけ外に出られます。

(黒田委員)

例えば、小学校でもひと月に一回か二回、クラブ活動がありますよね。うちの子どもは30代ですが、小学校に居た時にゲートボールをやっていたことがあるんです。地域の高齢者が講師できてやったということがありましたので、そういった形で学校を通してゴルフを普及させたいなという気持ちがありますが、私たちが教室を開いてもどうしても大人の方ばかりなんです。ですので、小学校や児童クラブを通じてできると良いなと思います。何か良い意見ありますか。

道具は、使わなくなったら返すという風です。使っている間は無償で提供してくださっているものですから、買うとなると良い値段がかかります。

志貴小学校では一年間で二回、クラブでカラーリングをやっています。志貴小学校の場合は、一学年一クラスなのでごくまとまりやすいんです。志貴小学校にみんスポクラブの指導員が行って、クラブ活動としてカラーリングをやったり、スナッグゴルフをやったりなどたまにはやるんですけど、他の小学校でやる場合は、校長先生にお願いした方が良いでしょうか。

(錦見委員)

まず、ニーズもあるし、ケガの心配もあるし、最終的には校長が判断すると思いますが、いろいろなことがきちっとした段階で許可をしていくと思います。失礼かもしれませんが、志貴小学校の規模だからできるのではないかと思います。

(黒田委員)

志貴小学校は子ども会が一つですし、私たちが出向いていろんなことをやる機会が多いんですね。

(錦見委員)

ですので、条件がそろわないとできないと思います。現実問題、他の学校ではやりたかったけどやれなかったスポーツもあるのかもしれないと思います。

(黒田委員)

みんスポクラブは東山中学校区の地域住民で大人から子どもまでが対象者なので、例えば子どもには幼稚園、保育園に出張して毎年ニンジャランドを実施していますが、今回のボッチャもお年寄りを対象にして、普及出来たらよいかと思います。スナッグゴルフもそういう形で子どもに広められたらいいなあと思っています。

(生涯学習部長 大見)

授業の一環としてはそうかもしれませんが、東山中学校区どこかの子ども会とタイアップして行うとかはどうでしょうか。

(黒田委員)

子ども会さんもこれ以上やれないという声があります。

(生涯学習部長 大見)

そうではなくて、何か事業を削っていただいて代わりにやってもらうとかいかがでしょうか。

(黒田委員)

子ども会の理事さんたちに相談するという形ですよね。

子ども会育成会からは依頼があるんですが、単発事業では子ども会の事業に組み込んだりすることができるのですが、継続という面では難しい所があります。

(生涯学習部長 大見)

児童クラブ自体は教育委員会の管轄ではなくて、子育て支援課の管轄にはなるんですが、例えば小学校には主任児童委員という方が見えますので、その方に連絡をとって提案してみるのも良いかなと思います。

(藤野委員)

黒田さんのように、いろんなスポーツを推進されたい方がいると思います。安城市の事業計画は本当に多岐に渡っていて、いろいろ見たり体験したり、指導者を養成したりなどバランスよくされていると思います。だからこそ、もっといろいろなスポーツを振興して

はという話になると思います。

そうなったときに一つ問題があると思います。やりたい側と知りたい側とのマッチングの面があると思います。ケンサチのイベントですと例えばフェイスブックなどで告知をされていると思いますが、そういうのを利用してはどうかなと思います。シニアの方は来るんだけど、若い方がこないというご意見がありました。じゃあ、若い方が使っているメディアを使って発信を少しずつ、例えば、こういう声があったときにこういうイベントがあるというのを知る機会を持つ場をどこかで作っていけると良いと思います。

例えば、北部小学校区以外の地域の方の中にもスナッグゴルフに興味をもっている方がいると思いますので、今あるルートの中で安全性だとかをまとめないと提供できないのではなくて、個別にそういうことが好きな人が興味もった時に参加できるような情報の発信を導入されると、さらに素敵な事業がより多くの方に知って触れるチャンスが増えるのではないかなと思います。

#### 【議題（２） 全委員了承】

以上